

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業ビジネス支援課

担当名：農地活用担当

内線：4092

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B10	農との共生 田園都市豊かなくらし満喫事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業振興費	グリーンツーリズム活動促進費	
事業期間	平成23年度～平成28年度	根拠法令	なし	戦略項目 12 日本一の共助県づくり				分野施策 050204 魅力ある農山村づくりと多面的機能の活用	
<p>1 事業の概要</p> <p>NPO等によるボランティア活動、企業による社会貢献活動など、県民の共助の意識が高まってきている。こうした団体が農山村地域を活動の場として地域の農業者と協力し、自主的に農山村の田園資源を維持・活用する活動など、農山村地域との実践的な「共助」の取組を推進する。</p> <p>採択団体数が当初の見込みを下回ったため減額 (1) 実践活動支援事業 1,300千円 事務費の節減に伴う減額 (2) 県推進事業 178千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 実践活動支援事業 6,950千円 本県の魅力ある田園資源を維持活用する活動計画を策定し、計画に基づき実施する農業生産支援活動、農村景観維持活動、バイオマス資源活用活動等の実践活動への支援</p> <p>イ 県推進事業 1,465千円 活動団体の公募、審査会の開催、実践活動の支援、活動内容のPR</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 実践活動支援事業 平成23年度～26年度の間、毎年新規8団体を採択し(1団体3年継続)、平成28年度までに32団体を支援する。</p> <p>イ 県推進事業 平成23年度～28年度の間、公募、審査会の開催、実践活動の支援、活動内容のPR等を行う。</p> <p>(3) 事業効果 県民が田園資源を中心とした協働活動に参加することにより、地域コミュニティの輪が形成され、都市と田園が共存したゆとりに満ちた生活が実現される。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 審査員については、民間の有識者を採用。</p> <p>(5) 補正予算の概要 実践活動支援事業：採択団体数が当初の見込みを下回ったため減額 県推進事業：事務費の節減に伴う減額</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>1 NPO、市民団体、企業、自治会等民間団体 (県10/10)</p> <p>2 県 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>なし</p>									
				財 源 内 訳					
予算額		諸収入						一般財源	補正後の 予算額
決定額	1,478							1,478	6,937
現計額	8,415	11						8,414	